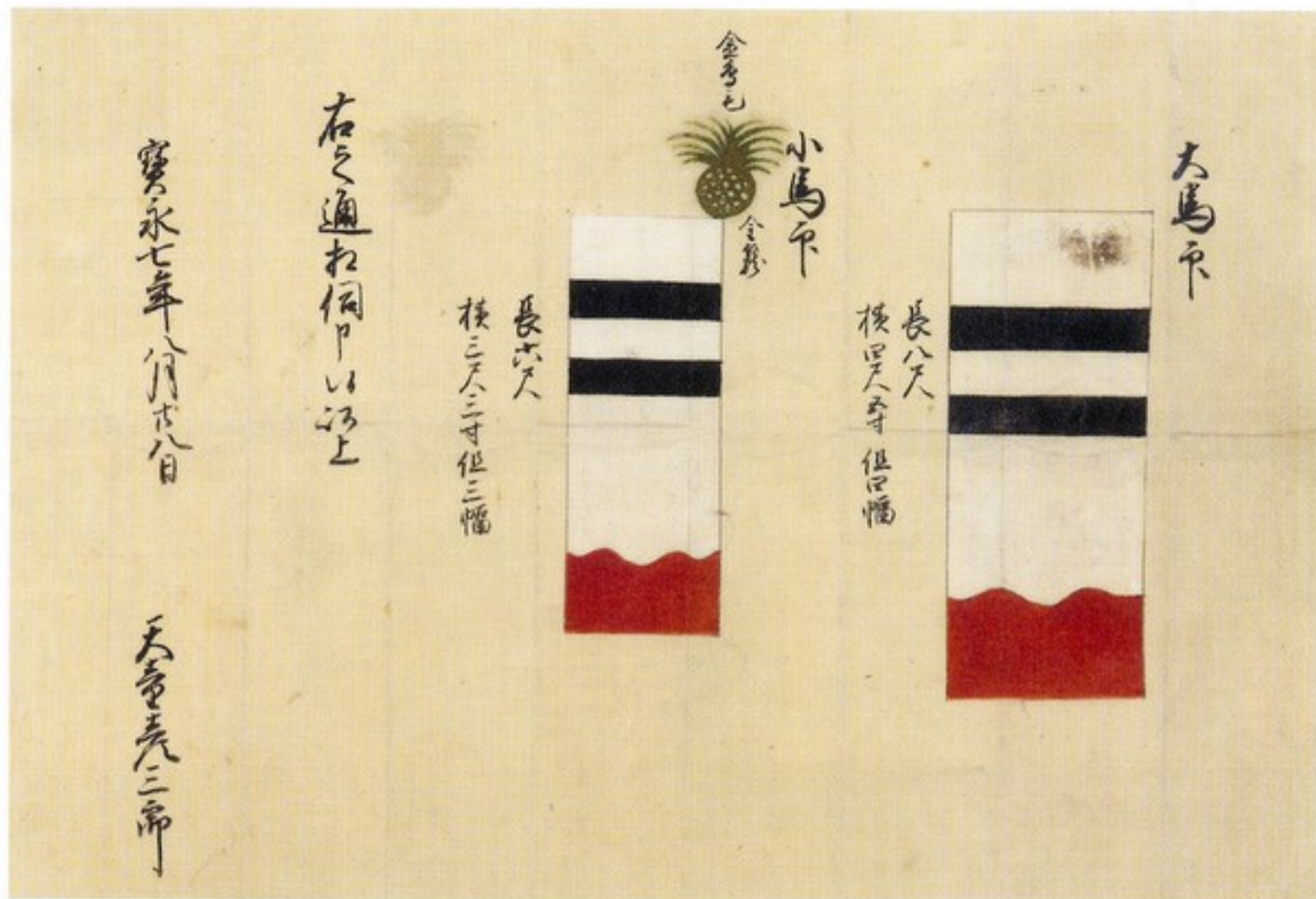


準一家の役割

準一家に列した家は、一家の諸家と同様に朔望登城、当番参府、藩主名代などを務めました。朔望登城とは、毎月1日と15日に登城し、藩主に拜謁することであり、当番参府とは、一定期間在郷屋敷から仙台的の城下屋敷に上り、登城して任に当たることです。若年寄や大番頭など藩の重職に就くこともあり、準一家に列した家は、藩主を補佐する重要な位置にありました。



大馬印・小馬印
部隊が移動する際、その位置を示す目印に使われたもの。



新田八幡神社 大和町
新田八幡神社は5代藩主吉村が整備した神社。陽徳院霊屋は、政宗の正室が祀られており、藩主にかわり、天童氏が代参しています。

藩の支配機構

